

ちょっとお調べください。故障かな?……とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源コードが抜けている	プラグをコンセントにしっかり差し込んで下さい
うまく切れない	刃物の取付けが悪い	説明書にそつてもう一度取付けてください
切り屑が多い	刃が切れない	刃物を交換してください
運転中ストップ	サーマルプロテクター作動	スイッチを切り30分程度待つてください

修理サービスおよび保証(保証書)について

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または下記に、ご相談ください。なお、ご相談されるときは、HAPPYキンピラー-KSC-155型およびお買い上げの時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
- このHAPPYキンピラー-KSC-155型に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。
- 保証期間内でも次の場合には有料になります。
 - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。

保証書について

- このHAPPYキンピラー-KSC-155型には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保管してください。
 - 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。
 - 万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。
 - このHAPPYキンピラー-KSC-155型の保証期間は お買い上げいただいた日から1年です。

お問い合わせは

ハッピー工業株式会社

フードマシン課

TEL.023-686-2241

〒990-2251 山形市立谷川3-3515

保証書

型名	HAPPYキンピラー-KSC-155型		
保証期間	1年間	お買い上げ日	年 月 日
ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒	TEL ()
販売店	住所 店名	〒	TEL ()

HAPPYキンピラー KSC-155型 取扱説明書



HAPPY



4 937319 312011

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

注意 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味

分解禁止 ①記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

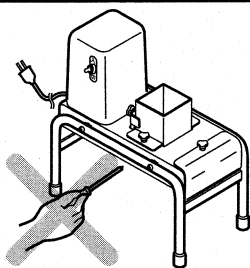
コンセントを抜く ●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

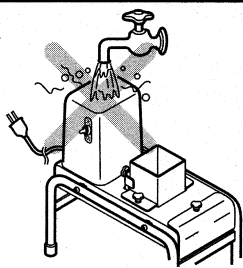
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります



本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります



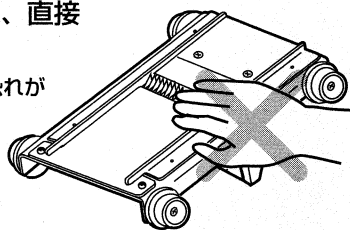
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

火傷、感電、けがをする恐れがあります



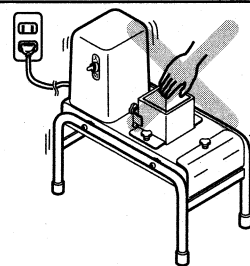
刃物は鋭利なので、直接手を触れない

けがをする恐れがあります



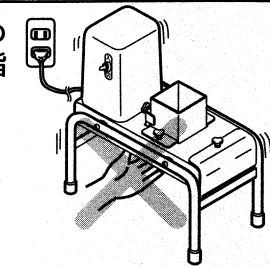
運転中、投入口を外したり、投入口の中に手・指などを入れない

けがをする恐れがあります



運転中・停止中にかかわらず、本体下部に手・指などを入れない

けがをする恐れがあります



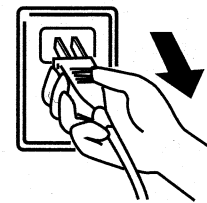
安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火する事があります



スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする

けがの原因となります



掃除するときは、刃物を取り外してからにする

けがをする恐れがあります



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります



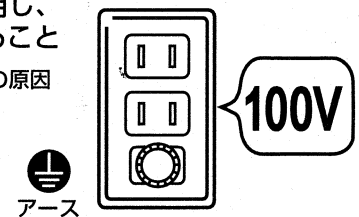
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟みこんだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります



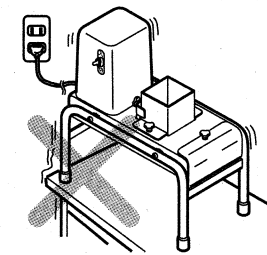
交流100Vを使用し、必ずアースを取ることを

火災・感電の原因となります。



不安定なところでは使用しない

けがの原因となります



クシ刃は鋭利な薄い刃で作られています。作業開始時と作業終了時に、それぞれ必ず刃の枚数を確認してください。万一作業中刃が欠けた場合は、食材を全部捨ててください。

けがの原因となります



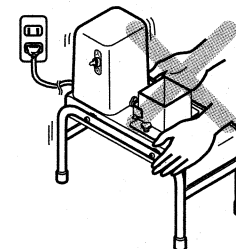
投入口・前カバーを取付けているとき以外は、スイッチを入れない

けがをする恐れがあります



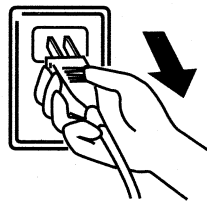
運転中に移動させない

けがの原因となります



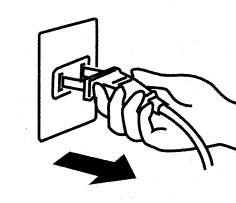
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります

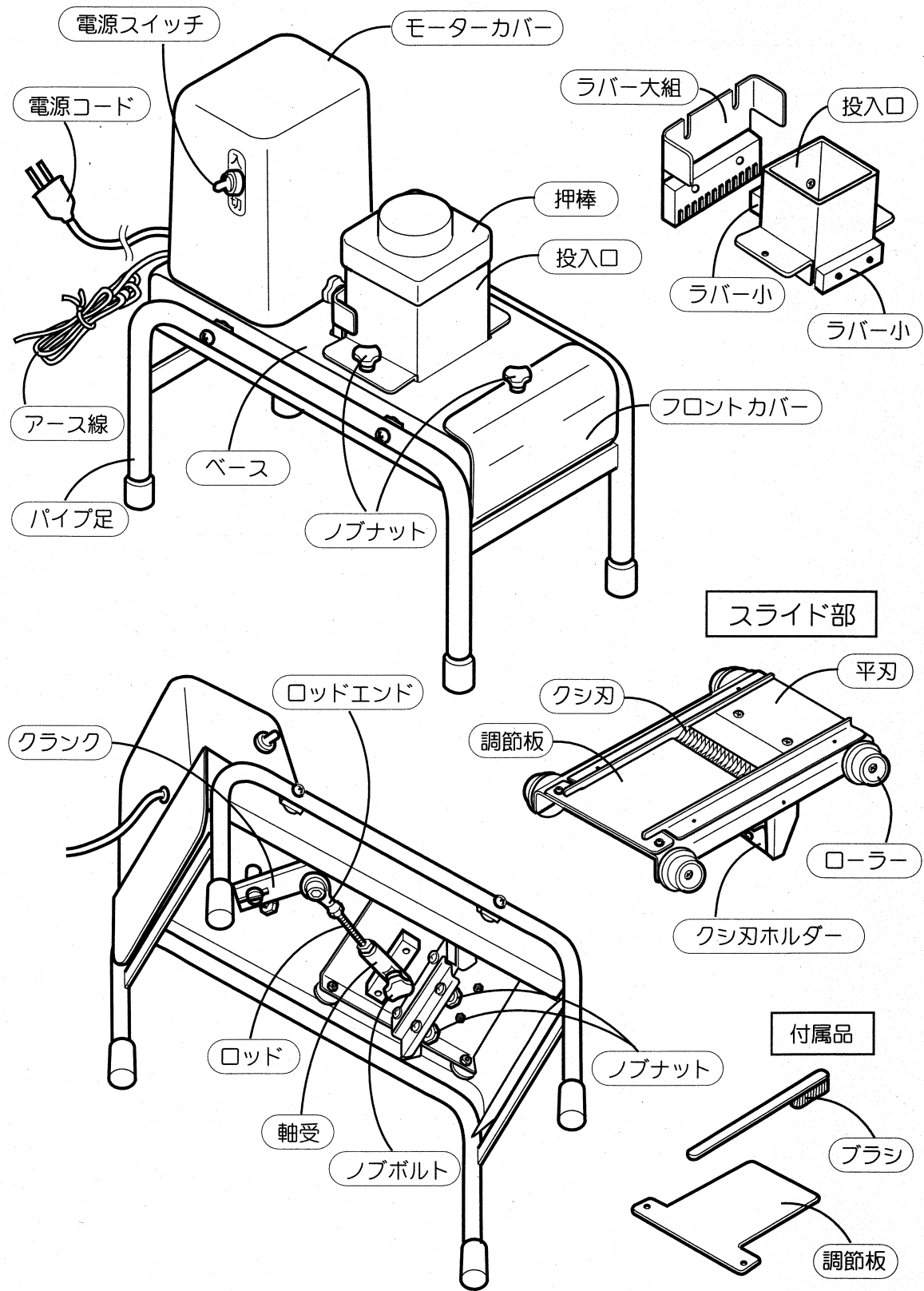


部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、プラグを抜く

けがをする恐れがあります

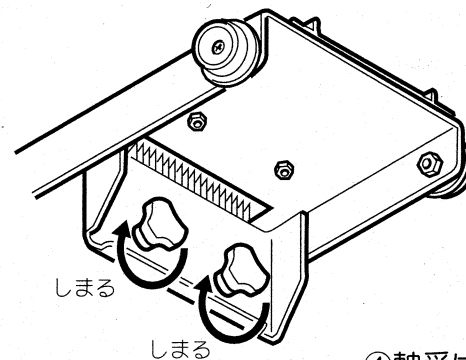
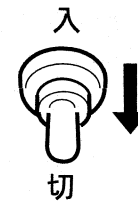


各部の名前



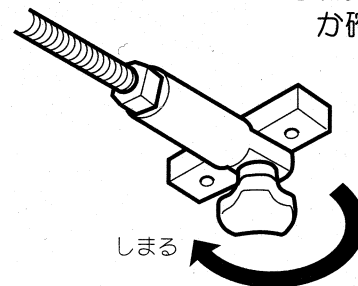
お使いいただく前の準備

- ①機械は平らで安定した所に置いてください。
- ②電源スイッチは「切」の状態になっているか確認してください。

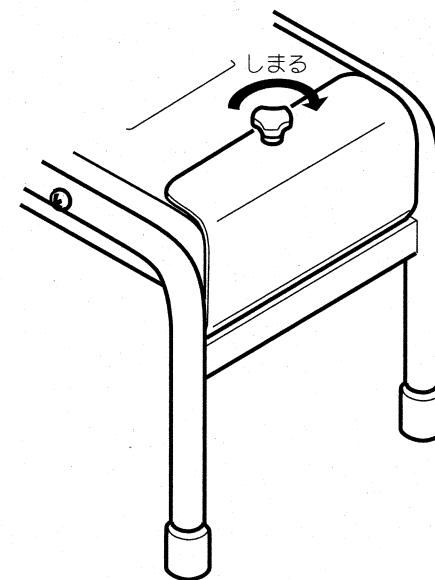


- ③クシ刃ホルダーを上いっばいあげて、ノブナット2箇所ですべて確実に締め付けられているか確認してください。

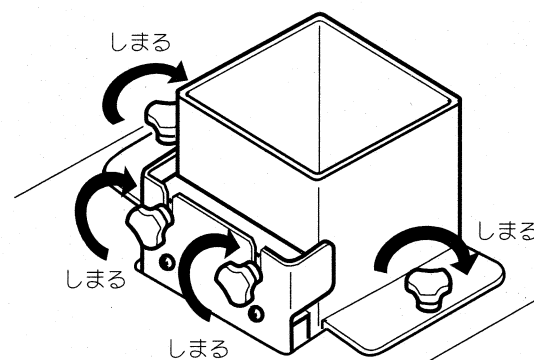
- ④軸受けのノブボルトが確実に締め付けられているか確認してください。



- ⑤フロントカバーのノブナットが確実に締め付けられているか確認してください。

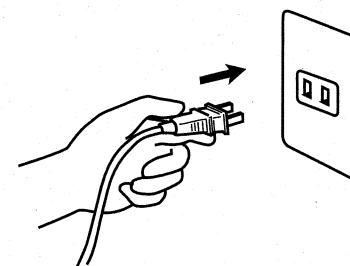


- ⑥投入口のノブナット2箇所とラバー押えのノブナット2箇所が確実に締め付けられているか確認してください。



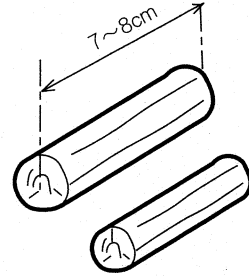
- ⑦差し込みプラグがコンセントに確実に挿入されているか確認してください。

※必ずアースを取ってください!

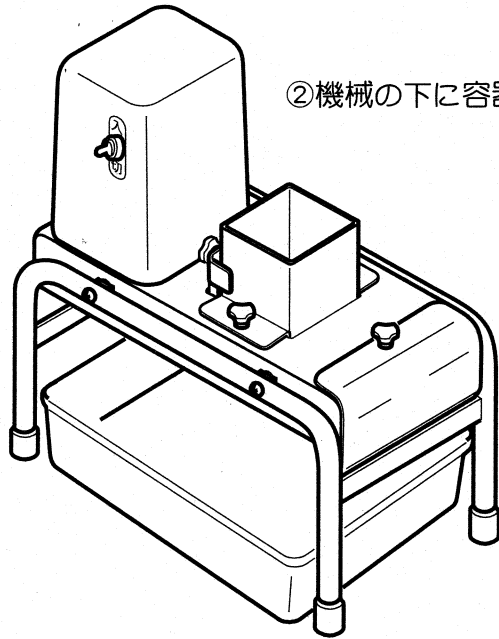


正しい使い方

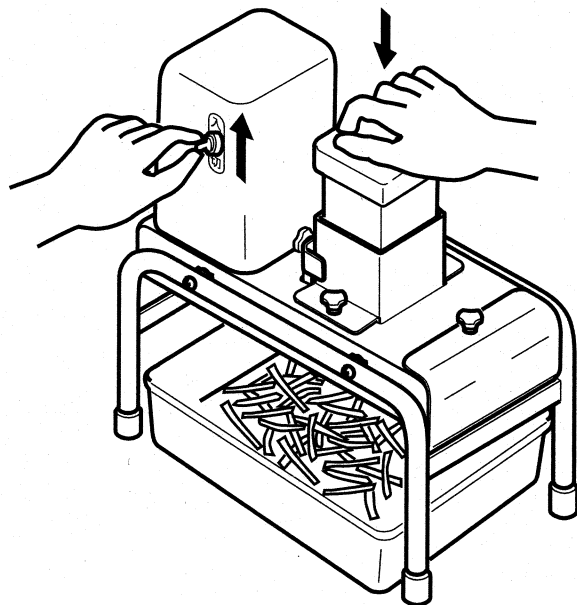
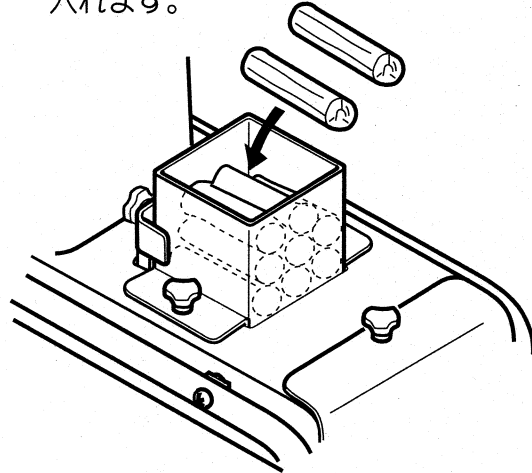
- ①ゴボウ（材料）の汚れを取り、皮を剥いて7~8cm くらいの長さに切り揃えておきます。



- ②機械の下に容器を置きます。



- ③投入口に材料を図のように並べて入れます。



- ④片手で押棒を投入口に入れ押しながら、もう一方の手でスイッチを「入」にします。押棒には力を加えたままにしておいてください。機械の下から千切りされた材料が落ちてきます。

※押棒には必要以上に力を加えずにようにしてください。

- ⑤千切りが終了したら、スイッチを「切」にしてください。

※量を多く切られる場合は、③~⑤を繰り返してください。
※刃物は鋭利ですので、取扱には充分注意してください。

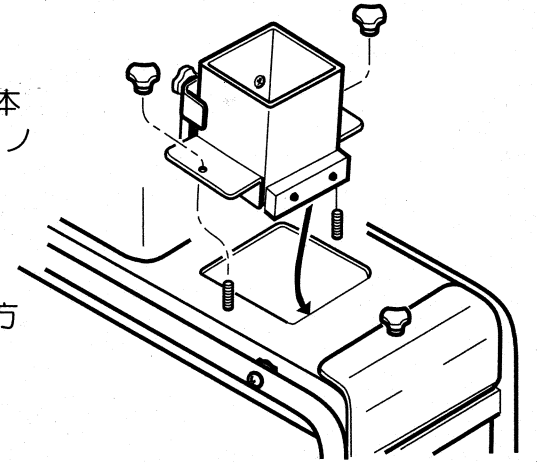
投入口着脱のしかた

1. 取付ける場合

図のようにラバーを先に穴の中に入れ、2本のネジを投入口の穴に合せながら取付け、ノブナット2個で固定します。

2. 取外す場合は

ノブナット2個を取外し、取付けとは逆の方から抜けば簡単に取外すことができます。

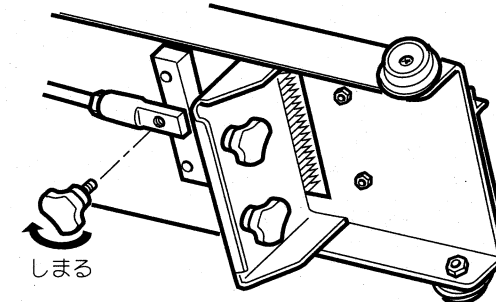


スライド部着脱のしかた

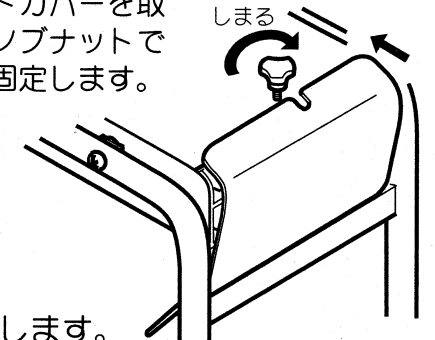
1. 取付ける場合

- ①右図のようにスライド部の調節板の方から、ベースの2段目のレールにローラーを差込みます。

- ②ノブボルトを軸受けに通し、スライド部を締付け固定します。



- ③フロントカバーを取付け、ノブナットで締付け固定します。



※刃物は鋭利ですので、取扱いは充分注意してください。

2. 取外す場合

- ①フロントカバーをノブナットをゆるめて取外します。

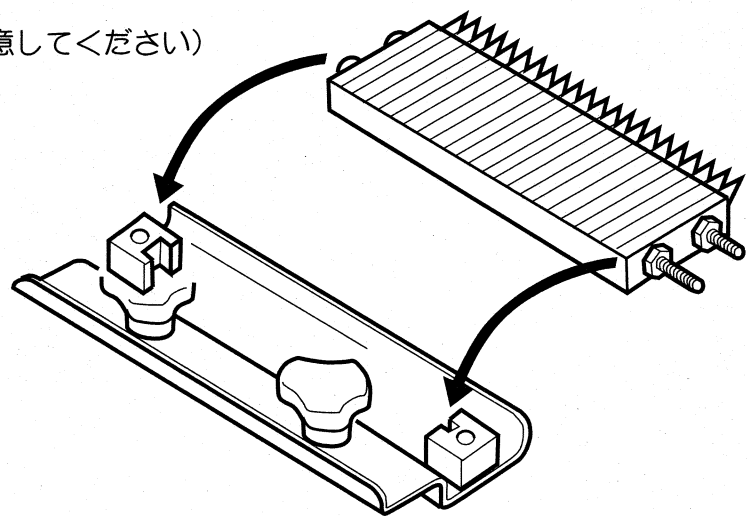
- ②スライド部を固定しているノブボルトをゆるめ取外します。

- ③スライド部をレールから引抜きます。
(スライド部が引っかかり抜きにくい場合は、投入口を取外してからスライド部を引き抜いてください)

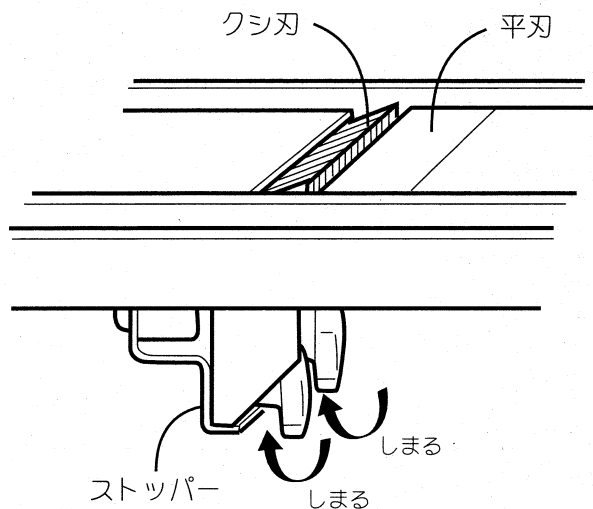
クシ刃着脱のしかた

1.取付け方

- ①クシ刃をクシ刃ホルダーに入れる。
(左右に注意してください)



- ②クシ刃を入れたクシ刃ホルダーをスライドベースにストッパーが当るまで差込み、2個のノブナットを締付け固定します。



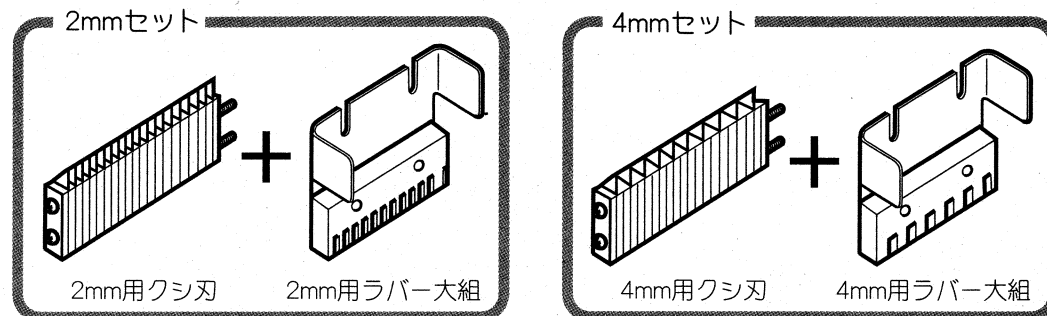
1.取外し方

- ①クシ刃ホルダーの2個のノブナットをゆるめ、クシ刃ホルダーを下に引き抜きます。
②クシ刃ホルダーからクシ刃を取外します。

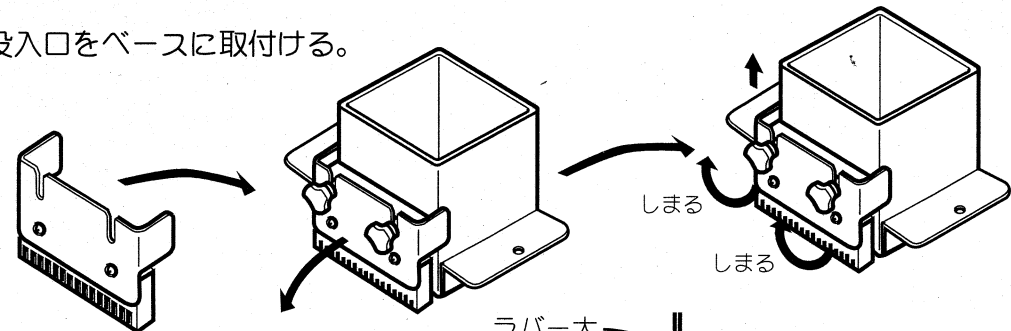
※刃物は鋭利ですので、取扱いには充分注意してください。

千切り幅設定のしかた

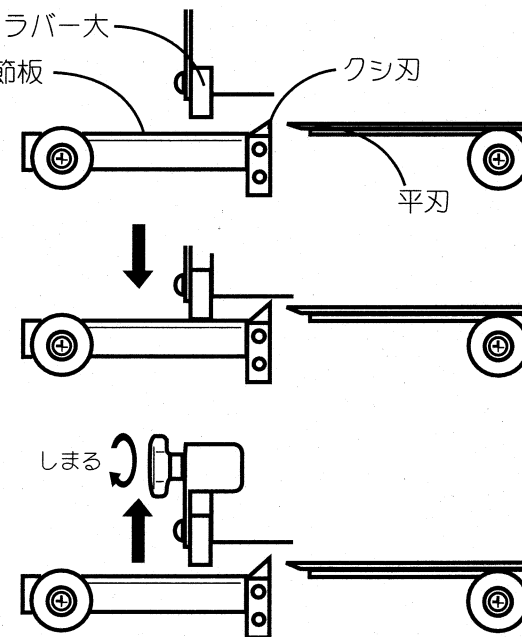
- キンピラーの千切り幅は標準品で3mmですが、別売品を購入していただきますと、2mm・4mm幅の千切りも可能になります。



- ①好みの千切幅のクシ刃を、クシ刃着脱のしかたを参照しながら取付ける。
②投入口を取外し、投入口に付いているラバー大組をクシ刃と同じ幅の物と取替え、ラバー大組を上を持ち上げた状態で仮止めしておく。
③投入口をベースに取付ける。



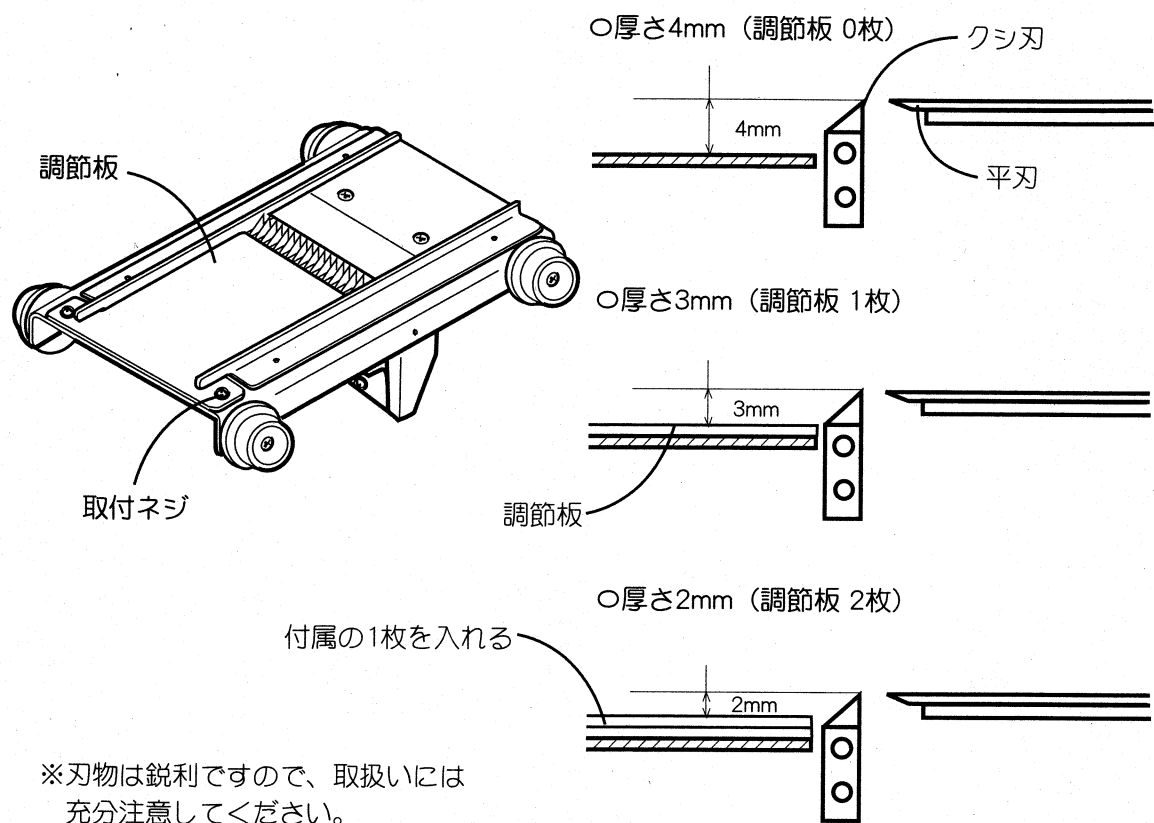
- ④スライド部の調節板の位置が、ラバー大の下にくるように動かす。
⑤ラバー大組を押えているノブナットをゆるめ、ラバー大が調節板に当たるまで下げる。
⑥ラバー大が調節板とすれない程度のすき間をあけて、ノブナットを締める。



※刃物は鋭利ですので、取扱いは充分注意してください。

スライス厚さ設定のしかた

- 標準設定では3mm厚さですが、調節板を加えたり減らしたりすることにより、2mm・3mm・4mmの厚さにスライスすることが可能になります。



切り方の組合せ

- スライス厚さと千切り幅の組合せにより、9通りの切り方が可能になります。

スライス厚さ \ 千切り幅	クシ刃 2mm	クシ刃 3mm	クシ刃 4mm
2 mm	2 × 2	2 × 3	2 × 4
3 mm	3 × 2	3 × 3	3 × 4
4 mm	4 × 2	4 × 3	4 × 4

平切りのしかた

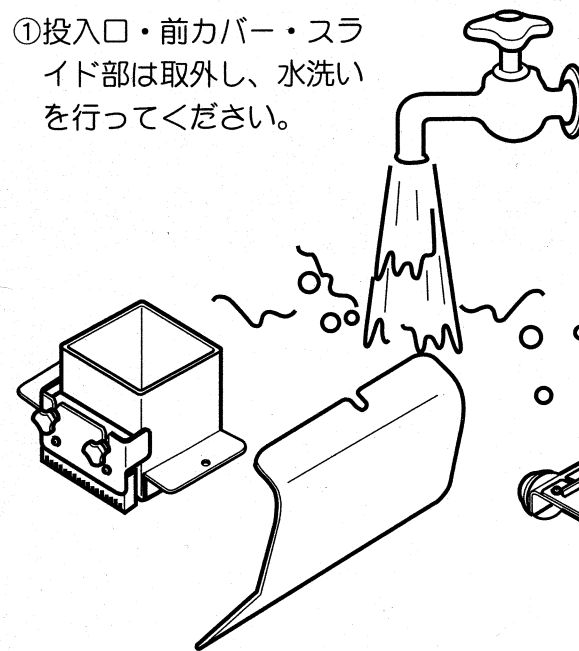
- クシ刃を取外すことにより、野菜を平切りすることができるようになります。

手入れのしかた

作業が終り次第直ちに手入れしてください。

- スイッチが「切」になっていることを確認し、差込みプラグを抜いてください。

- ①投入口・前カバー・スライド部は取外し、水洗いを行ってください。



- ②水洗い後、タオル等で水滴を拭き取ってください。

- ③本体は、かたく絞ったタオル等で拭き取ってください。

- ※刃物は鋭利ですので、取扱いには充分注意してください。
- ※洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤をご使用ください。
- ※洗淨及び乾燥機、熱湯は使用しないでください。

